

令和5年度ナンバーワンスクール&ステップアップスクール

三好市立山城中学校

ナ ン バ ー ワ ン ス ク ー ル	領域	全教育活動
	主題	一人一人が輝ける学校をめざして
	主題設定の理由	<p>本校は生徒数が41名の小規模校である。それ故に様々な点で、教育活動も制限を余儀なくされている。これまで学年単位で可能だった活動が、複数学年での合同活動にせざるを得ないことや、存続できず休部・廃部になる部活動もある。また、修学旅行も隔年での実施になり、本年度は実施しない。これらに不安を抱き、校区内小学校では、近隣の中規模校へ進学する児童もあり、生徒数の減少に拍車がかかり、本校とそれを取り巻く地域が不安を抱いていることは否めない。</p> <p>このように、教育環境としては厳しい面も多いが、少人数ならではの活動という視点で本校の活動を見直したとき、その特性と利点が見えてくる。本校ではこれまで、互いの結びつきを大切にすることを目的とした縦割り集団活動（異学年交流活動）や外部の人との関わりを深める活動を行ってきた。また、一人一人の生徒に対するきめ細かな支援が可能である。このことが、よりよい集団づくりに極めて大切であると同時に、教職員と生徒の結びつきを強くすることに繋がっている。このような現状を踏まえ、互いを理解し合い、ともに支え合い、ともに高め合おうとする生徒の姿は、山城中ならではの姿である。</p> <p>本年度は、本校の特性をこれまで以上に生かしていきたい。生徒が個性を生かして主体的に物事に取り組むことができるよう教育活動全体で取り組み、生徒一人一人が主役として輝ける学校を目指すべく本主題を設定した。</p>
ス テ ッ プ ア ッ プ ス ク ー ル	領域	全教育活動
	主題	自分の役割を果たそう
	主題設定の理由	<p>自己有用感とは自分が有用だと思える感情。他者との関係で、自分の存在が誰かの役に立っている、貢献していると認識できる時に、起きる感情である。この自己有用感が人を輝かせ、自信をつけさせる。自らの役割を自覚することで、集団での存在感を認識し、安定した人間関係を生み出すことができる。本校は、少人数であるがために、一人一人の生徒が責任をもって役割を果たせる場面が多く設定されている。また、各自が活躍できる機会を適切に与えることもできる。そのような活動を通して、自らを高めるために何をすべきか、人との関わりの中でどう行動すべきかを考え、実践させたい。このような願いから、この主題を設定し、次のような具体的な生徒像を定めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大きな声であいさつができる生徒 ○ 1年間に本を30冊以上読む生徒 ○ やまびこネット宣言を守り、情報モラルを守る生徒 ○ 規則正しい生活ができる生徒 ○ 授業に積極的に取り組む生徒 ○ 自己肯定感や自己有用感の高い生徒 ○ 人権感覚をもち、相手を思いやり協力することができる生徒